

## JR 中央線の高速化及び利便性向上の取組みについて

### 1 中央東線高速化促進広域期成同盟会（平成 20 年 1 月設立）

#### 目的

- ・中央線の高速化、利便性向上、沿線の地域振興に取り組むため、東京都、神奈川県、山梨県、長野県の一都三県にまたがる広域的な推進組織を設立し、沿線地域の高速化等に関する世論形成を図るとともに、国、JR 東日本などに対して積極的な要望活動を実施する。

#### 組織

##### ・構成メンバー

- 会 長：山梨県知事、 会長代理：長野県知事
- 副 会 長：松本市長、甲府市長、 監 事：韮崎市長、安曇野市長
- 顧 問：山梨、長野両県選出国會議員、両県県議会議長・副議長
- 参 与：山梨、長野両県県議會議員（但し議長・副議長は顧問）
- 会 員：山梨県、長野県、中央線沿線（一部大系線沿線）48 市町村、その他 40 団体  
計 9 0 団体

#### 要望項目

##### ・中央東線の高速化及び輸送力の強化

- 三鷹～立川間の複々線化の早期事業化
- 京葉線の延伸（東京～新宿～三鷹間）の推進
- 高尾以西の線形改良の推進
- 高速化や快適性の向上に資する新型車両の開発推進と早期導入

##### ・中央東線の利便性向上

- 早朝、深夜の特急電車の新設
- 東京駅始発終着の特急電車の増発
- 携帯電話の不感地域の解消（特に、山岳区間 高尾～塩山間での不感地域解消の推進）
- 特急「あずさ」の大系線乗り入れの増発、飯田線への乗り入れ
- 中央西線、身延線、飯田線など他線との接続改善
- 普通電車の増発、通勤通学用快速列車の甲府までの延伸
- S u i c a 対応自動改札機の全駅設置、みどりの窓口の営業時間延長
- 特急定期券の導入 (H25 年度 要望項目)

## 2 要望に係る改善項目

新宿駅を終着としていたスーパーあずさ 6 号の東京駅までの延長

夕方の東京発大月行き直通列車の増便

県内に 5 本ある 2,000m 以上のトンネルにおける携帯電話の不感区間の解消

現在のスーパーあずさに代わり、新幹線にも使われている「空気ばね式」の車両傾斜装置等を備えた新型車両の開発着手、来年夏の試験走行の開始

普通列車を、現在の 115 系から乗り心地の良い 211 系へと順次置き換え

## 3 今後の対応

中央線の大幅な高速化は、巨額の工事費や時間を要することから、長期的な課題として、引き続き沿線都県・市町村と連携しながら、今後も粘り強く取り組んでいく。

利便性向上については、本県が東京圏への通勤通学圏となるような方策を早期に講じることが重要と考えており、大月発の快速列車（いわゆる E 電）の甲府駅までの延長を JR 東日本に申し入れている。